



# ACE ハードウェアおよびソフトウェア設定情報の表示

この章では、ACE のハードウェアおよびソフトウェア設定情報を表示する方法について説明します。ACE CLI (コマンドラインインターフェイス) では、EXEC モードで実行できる各種 **show** コマンドのセットが用意されています。これらのコマンドを使用して、ACE のハードウェアおよびソフトウェア設定情報を収集することができます。この章の内容は、次のとおりです。

- [ソフトウェア バージョン情報の表示](#)
- [ソフトウェア著作権情報の表示](#)
- [ハードウェア情報の表示](#)
- [ハードウェア コンポーネントの表示](#)
- [システム プロセスの表示](#)
- [プロセス ステータス情報とメモリ リソース制限の表示](#)
- [システム情報の表示](#)
- [ICMP 統計情報の表示](#)
- [テクニカルサポート情報の表示](#)

現在の実行コンフィギュレーション ファイルとスタートアップ コンフィギュレーション ファイルの内容を表示する方法については、[第 4 章「ACE ソフトウェアの管理」](#) を参照してください。



(注)

**show buffer**、**show cde**、**show fifo**、**show hyp**、**show lcp**、**show netio**、**show np**、**show scp**、**show vnet** の各コマンドは、内部のシステムレベルのハードウェア情報を表示します。これらのコマンドは、訓練を受けたシスコの保守担当者が、ACE のデバッグおよびトラブルシューティングに使用します。これらの **show** コマンドの背景説明については、『*Cisco Application Control Engine Module Command Reference*』を参照してください。

## ソフトウェアバージョン情報の表示

ACE のフラッシュメモリ内で実行中のシステムソフトウェアのバージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。**show version** コマンドは、アップグレードの前後で、ACE のソフトウェアバージョンを確認するために使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

### show version

例えば、**show version** コマンドの全出力を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin# show version
Cisco Application Control Software (ACSW)
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.
```

```
Software
  loader:      Version 12.2[117]
  system:      Version 3.0(0)A1(1) [build 3.0(0)A1(1)
_01:26:21-2006/03/13_/auto/a
dbu-rel/ws/REL_3_0_0_A1_1]
  system image file: [LCP] disk0:c6ace-t1k9-mzg.3.0.0_A1_1.bin
  licensed features: no feature license is installed
```

```
Hardware
  Cisco ACE (slot: 3)
```

```
cpu info:
  number of cpu(s): 2
  cpu type: SiByte
  cpu: 0, model: SiByte SB1 V0.2, speed: 700 MHz
  cpu: 1, model: SiByte SB1 V0.2, speed: 700 MHz
memory info:
  total: 957816 kB, free: 374588 kB
  shared: 0 kB, buffers: 2572 kB, cached 0 kB
cf info:
  filesystem: /dev/cf
  total: 500040 kB, used: 449976 kB, available: 50064 kB

last boot reason: reload command by admin
configuration register: 0x1
host kernel uptime is 1 days 10 hours 59 minute(s) 10 second(s)
```

## ソフトウェア著作権情報の表示

ACE のソフトウェア著作権情報を表示するには、**show copyright** コマンドを使用します。このコマンドの構文は、次のとおりです。

### **show copyright**

次に入力例を示します。

```
host1/Admin# show copyright
Cisco Application Control Software (ACSW)
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.
```

## ハードウェア情報の表示

ACE のハードウェア コンポーネントの詳細を表示するには、**show hardware** コマンドを使用します。このコマンドの構文は、次のとおりです。

### **show hardware**

例えば、ACE ハードウェア コンポーネントの詳細を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin # show hardware
```

表 5-1 に、**show hardware** コマンド出力の各フィールドについて説明します。

**表 5-1 show hardware コマンドのフィールドの説明**

フィールド	説明
Product Number	ACE の製品番号
Serial Number	ACE のシリアル番号
Card Index	インデックス値で指定された ACE の場所
Hardware Rev	ACE のハードウェア リビジョン
Feature Bits	ACE ハードウェアのイネーブルにされた機能ビット
Slot No.	ACE が設置されているスイッチまたはルータのシャーシの スロット番号
Type	スイッチまたはルータのシャーシに設置されているモ ジュールのタイプ
Module Mode	サポートされているインターネットワーキング速度 (Gbps)

## ハードウェア コンポーネントの表示

ACE のシステム ハードウェア コンポーネントを表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。このコマンドは、製品 ID、シリアル番号、バージョン ID など、ACE の Field Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) に関する情報を表示します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show inventory [raw]
```

オプションの **raw** キーワードを指定すると、ACE の各温度センサーに関する情報が表示されます。

例えば、ACE ハードウェア コンポーネントの詳細を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin # show inventory
```

表 5-2 に、**show inventory** コマンド出力の各フィールドについて説明します。

**表 5-2 show inventory コマンドのフィールドの説明**


フィールド	説明
Name	スイッチまたはルータのシャーシ内の ACE に割り当てられた名前
Descr	スイッチまたはルータのシャーシに設置されている ACE の説明   <b>(注)</b> オプションの <b>raw</b> キーワードを指定すると、Descr フィールドに ACE の各温度センサーに関する情報も表示されます。
PID	ACE の製品 ID
VID	ACE のバージョンの ID
SN	ACE のシリアル番号

表 5-3 に、`show inventory raw` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-3 `show inventory raw` コマンドの各フィールドの説明

フィールド	説明
Name	ACE の温度センサーに割り当てられた名前
Descr	温度センサーの説明
PID	適用されない
VID	適用されない
SN	適用されない

## システム プロセスの表示

ACE で実行中のすべてのプロセスに関する全般的な情報を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。**show processes** コマンドは、SiByte 1250 Processor のサマリー CPU 情報を表示します。

**show processes** コマンドは、すべてのコンテキストで Admin ロールを持つユーザだけが使用できます。システム プロセス情報は、コンテキスト別ではなく、CPU システム レベル（CPU 使用状況の合計値）で表示されます。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show processes [cpu | log [details | pid process_id] | memory]
```

キーワード、引数、およびオプションは次のとおりです。

- **cpu** — SiByte 1250 Processor、BCM1250 デュアル コア MIPS プロセッサの CPU 情報を表示します。
- **log** — プロセス ログに関する情報を表示します。
- **details** — すべてのプロセス ID のプロセス ログ情報を表示します。
- **pid process\_id** — 特定のプロセス ID に関する情報を表示します。
- **memory** — プロセスに関するメモリ情報を表示します。

例えば、SiByte 1250 Processor のメモリ情報を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin# show processes mem
PID      MemAlloc  StackBase/Ptr      Process
-----
1         14592     7fff7f40/7fff77d0  init
2          0         0/0                 keventd
3          0         0/0                 ksoftirqd_CPU0
4          0         0/0                 ksoftirqd_CPU1
5          0         0/0                 kswapd
6          0         0/0                 bdflush
.
.
```



表 5-4 に、`show processes` コマンド出力の各フィールドについて説明します。`show processes` コマンドは、SiByte 1250 Processor の CPU サマリー情報を表示します。

表 5-4 `show processes` コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
PID	プロセス ID
State	<p>プロセス状態。プロセスの状態を表す各ステータス コードとその意味を以下に要約します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>D</b> — 割り込み不可能なスリープ状態（通常は I/O 関連）</li> <li>• <b>ER</b> — 実行時エラー</li> <li>• <b>NR</b> — 停止状態</li> <li>• <b>R</b> — 実行中または（実行キューに登録されており）実行可能な状態</li> <li>• <b>S</b> — 割り込み可能なスリープ状態（イベントの完了待ち）</li> <li>• <b>T</b> — ジョブ制御シグナルによって、またはトレース中であるため、停止している状態</li> <li>• <b>W</b> — ページング中</li> <li>• <b>X</b> — プロセスが停止した状態</li> <li>• <b>Z</b> — 終了しているが親によって回収されていない機能停止のプロセス（「ゾンビ」）。</li> </ul>
PC	現在のプログラム カウンタ（16 進形式）
Start_cnt	プロセスが開始された回数
TTY	プロセスを制御する端末。「—」は通常、デーモンが特定の端末で実行されていないことを意味します。
Process	プロセスの名前

表 5-5 に、`show processes cpu` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

**表 5-5 show processes cpu コマンドのフィールドの説明**

フィールド	説明
CPU Utilization	ACE の CPU 使用率 (パーセント) を、5 秒間隔、1 分間隔、または 5 分間隔で、リスト表示します。
PID	プロセス ID
Runtime (ms)	プロセスが消費した CPU 時間 (ミリ秒)
Invoked	プロセスが呼び出された回数
uSecs	各プロセス呼び出しの平均 CPU 時間 (マイクロ秒)
1 Sec	直前の 1 秒間の CPU 使用率 (パーセント)
5 Sec	直前の 5 秒間の CPU 使用率 (パーセント)
1 Min	直前の 1 分間の CPU 使用率 (パーセント)
5 Min	直前の 5 分間の CPU 使用率 (パーセント)
Process	プロセスの名前

表 5-6 に、`show processes log` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

**表 5-6 show processes log コマンドのフィールドの説明**

フィールド	説明
Process	プロセスの名前
PID	プロセス ID
Normal-exit	プロセスが正常終了したかどうかを示すステータス
Stack	スタック トレースがログに記録されているかどうかを示すステータス
Core	コア ファイルが存在するかどうかを示すステータス
Log-create-time	ログ ファイルが生成された時刻

表 5-7 に、`show processes log details | pid` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-7 `show processes log | pid details` コマンドのフィールドの説明


フィールド	説明
Service	サービスの名前
Description	サービスの簡単な説明
Started at	プロセス開始時刻
Stopped at	プロセス停止時刻
Uptime	プロセスの稼働時間
Start type	プロセスの再開可能特性（すなわち、ステートレス再開かステートフル再開か）を示すシステム マネージャ オプション
Death reason	システム マネージャがプロセスを強制終了させた理由（ <code>sysmgr</code> ハートビートに対する応答がないなど）
Exit code	プロセスの終了コード  <b>(注)</b> 通常は、強制終了させられたプロセスのシグナル番号です。
CWD	現在の作業ディレクトリ
Virtual memory	コード、データ ヒープ、プロセスのスタックが配置されている仮想メモリアドレス
PID	プロセス ID
SAP	サービス アクセス ポイント
UUID	SiByte 1250 Processor のユニバーサル固有識別情報

表 5-8 に、`show processes memory` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

**表 5-8 show processes memory コマンドのフィールドの説明**

フィールド	説明
PID	プロセス ID
MemAlloc	プロセスによって割り当てられたメモリ領域の合計
StackBase/Ptr	プロセスのスタック ベースと現在のスタック ポインタ (16 進形式)
Process	プロセスの名前

## プロセス ステータス情報とメモリ リソース制限の表示

詳細なプロセス ステータス情報とメモリ リソース制限を表示するには、EXEC モード コマンド **show terminal internal info** を使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show terminal internal info
```

次に入力例を示します。

```
host1/Admin# show terminal internal info
```

表 5-9 に、**show terminal internal info** コマンド出力の各フィールドについて説明します。


**表 5-9 show terminal internal info コマンドのフィールドの説明**

フィールド	説明
プロセス情報	
Name	プロセスを開始した実行可能ファイルの名前
State	<p>プロセス状態。プロセスの状態を表す各ステータス コードとその意味を以下に要約します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>D</b> — 割り込み不可能なスリープ状態 (通常は I/O 関連)</li> <li>• <b>ER</b> — 実行時エラー</li> <li>• <b>NR</b> — 停止状態</li> <li>• <b>R</b> — 実行中または (実行キューに登録されており) 実行可能な状態</li> <li>• <b>S</b> — 割り込み可能なスリープ状態 (イベントの完了待ち)</li> <li>• <b>T</b> — ジョブ制御シグナルによって、またはトレース中であるため、停止している状態</li> <li>• <b>W</b> — ページング中</li> <li>• <b>X</b> — プロセスが停止した状態</li> <li>• <b>Z</b> — 終了しているが親によって回収されていない機能停止のプロセス (「ゾンビ」)</li> </ul>

表 5-9 show terminal internal info コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
TGID	端末グループ識別子
PID	プロセス ID
PPID	親プロセス ID
TracerPID	トレーサ プロセス ID
UID	プロセスを開始したユーザの ID (4 要素のリスト)
GID	プロセスが属するグループの ID (4 要素のリスト)
FDSize	プロセス ファイル記述子のサイズ
Groups	グループの総数
VmSize	プロセスが使用している仮想メモリ領域の合計 (KB)
VmLck	ロック済み仮想メモリ領域の合計 (KB)
VmRSS	プロセスが使用している物理メモリ領域の合計 (KB)
VmData	仮想メモリ データ サイズ (KB)
VmStk	仮想メモリ スタック サイズ (KB)
VmExe	実行可能な仮想メモリ領域 (KB)
VmLib	仮想メモリ ライブラリ サイズ (KB)
SigPnd	シグナルは保留中です
SigBlk	シグナルはブロックされました
SigIgn	シグナルは無視されました
SigCat	シグナルが捕捉されました
CapInh	機能継承特権
CapPrm	機能特権 (プロセッサ リソース マネージャ)
CapEff	機能実効特権
メモリ制限	
Core file size	作成可能なコア ファイルの最大サイズ (ブロック数)
Data seg size	プロセスのデータ セグメントの最大サイズ (KB)
File size	シェルによって作成されるファイルの最大サイズ (ブロック数)
Max locked memory	プロセスがメモリ内にロック可能な最大サイズ (KB)

表 5-9 show terminal internal info コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Max memory size	プロセス常駐セットの拡張可能な最大サイズ (KB)  <b>(注)</b> この制約により、プロセスに与えられる物理メモリ領域が制限されます。
Open files	このプロセスでオープン可能なファイルの最大数
Pipe size	パイプバッファサイズ (バイト)
Stack size	プロセスのスタックセグメントの最大サイズ (KB)
CPU time	各プロセスによって使用される最大 CPU 時間 (秒)
Max user processes	ユーザ ID が同時に使用可能なプロセスの最大数
Virtual memory	プロセスが使用可能な最大仮想メモリ領域 (KB)

## システム情報の表示

システム情報を表示するには、**show system** コマンドを使用します。このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show system {error-id {hex_id | list} | internal | kmem | resources | uptime}
```

キーワードは次のとおりです。

- **error-id** — エラーの説明を表示します。
- **hex\_id** — 16 進形式のエラー ID です。0x0 ~ 0xffffffff の範囲で指定します。
- **list** — すべてのエラー ID を指定します。
- **internal** — 訓練を受けた Cisco の保守担当者のみが使用する一連の内部システム レベル コマンドを指定します。
- **kmem** — Linux のカーネル メモリ使用状況を表示します。
- **resources** — システム関連の CPU およびメモリ統計情報を表示します。
- **uptime** — ACE の稼働時間を表示します。

例えば、ACE の CPU およびメモリ統計情報を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin# show system resources
```

表 5-10 に、**show system kmem** コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-10 show system kmem コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
メモリ	
Total	Linux カーネル RAM の使用可能な領域の合計（物理 RAM 領域から予約ビットおよびカーネルのバイナリ コード サイズを差し引いた値）
Used	使用済みの Linux カーネル RAM 領域
Free	使用可能な Linux カーネル RAM 領域
Shared	常にゼロ
Buffers	バッファ キャッシュ内のメモリ



表 5-10 show system kmem コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Cached	ページ キャッシュ (ディスク キャッシュ) 用の RAM 領域からスワップ キャッシュ用の RAM 領域を差し引いた値
スワップ	
Total	物理スワップ メモリ 領域の合計
Used	使用中スワップ メモリ 領域の合計
Free	使用可能なスワップ メモリ
MemTotal	Linux カーネル RAM の使用可能な領域の合計 (物理 RAM 領域から予約ビットおよびカーネルのバイナリ コード サイズを差し引いた値)
MemFree	使用可能な Linux カーネル RAM 領域
MemShared	常にゼロ
Buffers	バッファ キャッシュ内のメモリ
Cached	ページ キャッシュ (ディスク キャッシュ) 用の RAM 領域からスワップ キャッシュ用の RAM 領域を差し引いた値
SwapCached	一度スワップ アウトされたあとにスワップ インされたが、まだスワップ ファイル内に存在するメモリ領域。このメモリ領域は既にスワップ ファイル内に存在するため、必要になるたびにスワップアウトする必要はありません。これにより I/O 回数が軽減されます。
Active	最近使用されたメモリ領域で、通常は絶対に必要でないかぎり、再要求されない領域
Inactive	未使用または簡単に解放可能なメモリ領域
HighTotal	ハイメモリ (highmem) 領域の合計サイズ。highmem とは、約 860 MB の物理 RAM 領域より上位のすべてのメモリ領域を指します。カーネルは間接的な方法を使用してハイメモリ領域にアクセスします。データ キャッシュは、このメモリ領域に配置できます。
HighFree	ハイメモリ (highmem) 領域の空き領域の合計
LowTotal	ローメモリ (highmem 以外の) 領域の合計サイズ

表 5-10 show system kmem コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
LowFree	ローメモリ (highmem) 領域の空き領域の合計。カーネルはローメモリ領域に直接アクセスできます。すべてのカーネルデータ構造体はローメモリ領域に配置する必要があります。
SwapTotal	物理スワップメモリ領域の合計
SwapFree	使用可能なスワップメモリ領域
Committed_AS	特定の負荷に対してアウトオブメモリ (OOM) 条件が発生しなければ、ほぼ 100% の保証を得るのに必要な RAM 領域の概算値。通常、カーネルはメモリ領域を物理的な上限を超えて割り当てます。例えば、1 GB のメモリ領域を動的に割り当てた場合は、そのメモリ領域を実際に使い始めるまで、その領域に対するアクセス要求は発生しません。Committed_AS は、最悪のシナリオが発生した場合に必要な RAM 領域またはスワップメモリ領域の概算値です。

表 5-11 に、show system resources コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-11 show system resources コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Load average	実行中プロセスの数として定義された負荷。直前の 1 分間、5 分間、および 15 分間のシステム負荷の平均値です。
Processes	システム内のプロセス数、およびコマンド入力時に実際に実行中のプロセス数
CPU states	直前の 1 秒間の、ユーザモード、カーネルモードおよびアイドル時間での CPU 使用率
Memory usage	総メモリ領域、使用済みメモリ領域、空きメモリ領域、バッファ用メモリ領域、およびキャッシュ用メモリ領域 (KB)。使用済みメモリ統計情報には、バッファとキャッシュも含まれます。

表 5-12 に、`show system uptime` コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-12 `show uptime` コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
System start time	ACE が起動された日時
System uptime	ACE のハードウェアとソフトウェアの稼働時間
Kernel uptime	オペレーティング システム (OS) の稼働時間

## ICMP 統計情報の表示

Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージプロトコル) の統計情報を表示するには、**show icmp statistics** コマンドを使用します。このコマンドの構文は、次のとおりです。

### show icmp statistics

次に入力例を示します。

```
host1/Admin # show icmp statistics
```

ICMP 統計情報を削除するには、**clear icmp statistics** コマンドを使用します。

表 5-13 に、**show icmp statistics** コマンド出力の各フィールドについて説明します。

表 5-13 show icmp-statistics コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Total Messages	ACE が送受信した ICMP メッセージの総数
Errors	ACE が送受信した ICMP エラーメッセージの数
Echo Request	ACE が送受信した ICMP エコー要求メッセージの数
Echo Reply	ACE が送受信した ICMP エコー応答メッセージの数
Unreachable	ACE が送受信した ICMP 到達不能パケットの数
TTL Expired	ACE が送受信した ICMP TTL 期限切れメッセージの数
Redirect	ACE が送受信した ICMP リダイレクトメッセージの数
Address Mask	ACE が送受信した ICMP アドレス マスク要求メッセージの数
Param problem	ACE が送受信した ICMP パラメータ問題メッセージの数
Source Quench	ACE が送受信した ICMP ソース クエンチ (始点抑制要求) メッセージの数
Time Stamp	ACE が送受信した ICMP タイムスタンプ (要求) メッセージの数

## テクニカルサポート情報の表示

問題が発生したとき、それを報告するために ACE に関する全般的な情報を表示するには、EXEC モードで **show tech-support** コマンドを使用します。このコマンドは、発生した問題を報告するときにも使用できます。このコマンドを使用して ACE に関するあらゆる情報を収集し、コマンドの出力をテクニカルサポートの担当者に提出してください。

**show tech-support** コマンドは、複数の **show** コマンドの出力を一度に表示します。このコマンドの出力は、設定によって異なります。

コマンドごとに詳細な情報を出力できます。また、特定のインターフェイスまたはモジュール用に出力を指定することもできます。各コマンド出力は、コマンドごとに改行され、コマンド名が先頭に出力されます。



(注)

明示的に **terminal length** コマンドを 0 (ゼロ) に設定して、自動スクロールをディセーブルに、手動スクロールをイネーブルにしてください。設定済みの端末サイズは、**show terminal** コマンドで確認できます。このコマンドの出力が表示されたら、必要に応じて端末長をリセットしてください (第1章「ACE の設定」の「端末表示属性の設定」を参照)。



(注)

このコマンドの出力をファイルに保存するには、**show tech-support** コマンドの末尾に **> filename** を指定します (第4章「ACE ソフトウェアの管理」を参照)。ファイルを保存する場合は、十分な空き領域があることを確認してください。各ファイルのサイズは約 1.8 MB です。

**show tech-support** コマンドのデフォルトの出力には、例えば、次の各コマンドの出力を含みます。

- **show hardware** — 「ハードウェア情報の表示」を参照してください。
- **show interface** — 『Cisco Application Control Engine Module Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください。
- **show process** — 「システムプロセスの表示」を参照してください。

- **show running-config** — 第 4 章「ACE ソフトウェアの管理」を参照してください。
- **show version** — 「ソフトウェアバージョン情報の表示」を参照してください。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

### **show tech-support [details]**

オプションの **details** キーワードを指定すると、各 **show** コマンドの詳細な情報が表示されます。

例えば、ACE の現在の実行ステートの抜粋を表示するには、次のように入力します。

```
host1/Admin# show tech-support

`show version`
Cisco Application Control Software (ACSW)
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2006, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  loader:      Version 12.2[117]
  system:      Version 3.0(0)A1(1) [build 3.0(0)A1(1)
_01:26:21-2006/03/13_/auto/a
dbu-rel/ws/REL_3_0_0_A1_1]
  system image file: [LCP] disk0:c6ace-t1k9-mzg.3.0.0_A1_1.bin
  licensed features: no feature license is installed

Hardware
Cisco ACE (slot: 3)
cpu info:
  number of cpu(s): 2
  cpu type: SiByte
--More--Generating configuration...
  cpu: 0, model: SiByte SB1 V0.2, speed: 700 MHz
  cpu: 1, model: SiByte SB1 V0.2, speed: 700 MHz
memory info:
  total: 957816 kB, free: 367840 kB
  shared: 0 kB, buffers: 2928 kB, cached 0 kB
cf info:
  filesystem: /dev/cf
```

```
total: 500040 kB, used: 449976 kB, available: 50064 kB

last boot reason: reload command by admin
configuration register: 0x1
host kernel uptime is 2 days 16 hours 41 minute(s) 20 second(s)
```

```
`show inventory`
```

```
NAME: "module 3", DESCR: "Application Control Engine 8G"
PID: WS-SVC-NTS10-1-K9 , VID: V00, SN: SAD0837030D
```

```
`show hardware`
```

```
Hardware
Product Number: WS-SVC-NTS10-1-K9
Serial Number: SAD0837030D
Card Index: 207
Hardware Rev: 0.203
Feature Bits: 0000 0001
Slot No. : 3
Type: ACE
Module mode: 8G
```

**show tech-support** コマンドの出力を、ACE 上の disk0: ファイル システムのファイル、または FTP、SFTP、あるいは TFTP を使用してリモート サーバにリダイレクトするには、EXEC モードで **tac-pac** コマンドを使用します。



(注)

**show tech-support** コマンドの出力は gzip 形式です。出力先ファイル システムで簡単に解凍できるように、ファイル名には .gz 拡張子を含めることを推奨します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
tac-pac {disk0:[path/filename] | {ftp://server/path/filename] |
sftp://[username@]server/path/filename] |
tftp://server[:port]/path/filename}}
```

キーワード、引数、およびオプションは次のとおりです。

- **disk0:[path]/filename** — ファイルの出力先が現在のコンテキストの **disk0:** ファイル システムであることを指定します。オプションの **path** を省略すると、ファイルは **disk0:** ファイル システムのルート ディレクトリに出力されます。
- **ftp://server/path[/filename]** — FTP ネットワーク サーバおよびファイル名（省略可）を指定します。
- **sftp://[username@]server/path[/filename]** — SFTP ネットワーク サーバおよびファイル名（省略可）を指定します。
- **tftp://server[:port]/path[/filename]** — TFTP ネットワーク サーバおよびファイル名（省略可）を指定します。

例えば、**show tech-support** コマンドの出力をリモートの FTP サーバに送信するには、次のように入力します。

```
host1/Admin# tac-pac ftp://192.168.1.2/tac-output_10-7-07.gz
```